

チャレンジャー (自立に挑む)	2
介護保険シンポジウム	10
年末年始の事業案内	12
10・8・28集中豪雨災害義援金の配布について	13
生涯学習基本構想	14
表通り 裏通り 川越いも～紅赤誕生百年を迎えて～	22

●防犯チラシが折り込まれています。

ライトアップされた川越駅東口・ペDESTリアンデッキ



スマイルシティ・川越

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>



それぞれの自立に挑む

チャレンジャー

私たちが障害を持つことは、一般に不利な状況(ハンディキャップ)を負うことになり。健康者に比べ、身体・知的・精神の能力に制限が生じるかもしれません。しかし、それは、健康者どうしの能力の差と同じ、または延長にあるもの。ひとつの能力が低下しても、それがすべての価値を決定するわけではありませんし、別の能力によって補うこともできます。また、そうしていろいろな能力が組み合わせられて個性になります。

米国では、身体障害者を「フィジカリー・チャレンジド・ピープル」、知的障害児を「エデュケイションアリー・チャレンジド・チルドレン」という言い方があると聞きました。日本でも障害者を「チャレンジド」という人・団体もあります。「障害者」は機能の回復、残存機能の可能性、そして、社会参加に挑む「チャレンジャー」です。

互いに支え合える、心のゆとりが必要なとき

社会参加の動き

日常生活、ドラマや子ども向けのテレビ番組、映画など、さまざまな場面で障害者の存在が自然になったことは、障害者の社会参加の進展と考えられます。障害者の努力と障害者を取り巻く人たちの支援、障害者を配慮した施設・制度などの取り組みによって、社会参加は動き始めました。しかし、それはまだ十分と

いうものではありません。

川越市内で暮らす身体障害者は五千七百三十八人(人口比およそ一・七七パーセント、平成十年三月三十一日現在)。知的障害者は九百九十七人(同〇・三パーセント、同)、精神障害者は四千六百人(同二・二五パーセント、同八年一月一日現在)です。身体障害者は障害者手帳、知的障害者は療育手帳の交付を受けている方、精神障害者は医療機関等にかかる方の推計のため、実際は、それぞれの数

よりも多いと考えられます。

このうち、最近五年間の身体障害者は平成五年の一・五四パーセントから年ごとに増加。事故・病気などによって障害を持つ傾向が高まったと考えられます。知的障害者は先天的な要因によることが多いために大きな変化はなく、精神障害者は潜在することから実態が把握しづらくなっています。

障害者の社会参加を進めるには、障害者について理解し、支援によって参加しや

すい環境を作ることを必要としています。

障害とは異なりますが、高齢社会においては加齢により、衰える機能とつきあう時間が長くなると考えられ、生活しやすい社会環境は将来の課題になります。また、最近の経済状況の低迷は、生活・労働などに大きな影響を及ぼし、その厳しさは障害者に降りかかります。「自分たちのことだけでいっぱい」という状況が、福祉に必要な「心のゆとり」までも失われないようにしたいものです。

障害も個性といふこと

障害者を特別ではなく、障害のない人と同じように生活が送れる環境を整えることが、ノーマライゼーションの考え方です。障害という漠然としています。それは障害の種類・部位・程度、障害を受けた時期、これまでの生育歴、家庭・地域環境、経済状況、人間関係などにより異なるもの。すべての人または障害に対して十分な支援は不可能です。最終的には、状況にあわせて人の力による援助が必要になります。

障害者のうち、車いす、白杖、盲導犬などを利用する方が困っているときに何をしたらいいか、専門的な支援、精神面にはいたりませんが、見えるハンディは、状況がわかり、支援することができ。聴覚または内臓疾患・難病などのように外観からは、わかりづらいものもありま

すが、障害者自身の意思表示によって支援が可能。コミュニケーションの差が、障害への理解に差を生むのでしょうか。知的障害の場合、一般に障害者の意思を確認されづらいため、未発達な能力は、健康者と比べて仕事の能率に現れます。重度障害者の多くは、授産施設または保護者の運動によって設けられた作業所などが活動の場になっています。障害の理解が進んでいない精神障害は、偏見と差別によって障害を隠して暮らしている状況があるため、受け入れる社会の改善から取りかかる必要があります。障害が重複する重度障害者の場合は常に介助を必要とし、社会参加というイメージとは異なる状況です。しかし、社会とのかかわりには、それぞれの形があります。

これまでは、どちらかという障害者の存在が社会的に認知されることに意味

がありました。段階的に考えると次のステップにさしかかっています。障害者といってもすべてが同じわけではありません。しかし、障害によるハンディキャップがあるという事実以外は、健康者と異なるものはありません。周囲の人たちが、障害を理解し、個性の一つと考え、それを自立に向けて生かしていく必要があります。

人と人のかかわりの中から生まれ育った理解・信頼は、人を支える最も大きな力になります。アイコンタクト、声のトーン、価値観など、一般に相手を知るための要素が足りないことがコミュニケーションをとりにくくする場合があります。足りないものを補う努力もまた、お互いの関係をはぐくむことになります。

支え合う「自立」

社会参加には、ひとりひとりの自立が

求められます。それでは、「自立」とは何でしょうか。

社会に出て働き、収入があり、住居があり、毎日の生活を送ることができたとしても、自分一人だけの暮らしでは「孤立」になってしまいます。たとえ、すべてを自分で行えないとしても人とかかわりを持ち、助け合い、自分の役割を互いに確認できることが、「自立」といえるのではないのでしょうか。

ほかの人への負担は、大きな社会という仕組みによってバランスがとられるものです。ところが、その仕組みを悪用する者、または高齢化・少子化という社会の状況による要支援者の増加と支援者の減少は、将来的に需給バランスが崩れることを予想させます。さまざまな計画の中で設定されている必要なサービスを実現するためには、そうした構造を考えて多くの人がかかわり、支え合わなければなりません。

ハンディキャップに挑む、かけがえのない人生

身体障害について

国際障害者年(昭和五十六年)と障害者の十年(同五十八年〜平成四年)によって進展した、障害者の社会参加。ことし長野市ほかで行われたパラリンピックにおける障害者の活躍も記憶に新しいところ。しかし、障害者になった衝撃と復帰までの間は、多くの苦しみがあ

り、周囲にも及ぶことも事実。交通事故・病気などによる障害の可能性を考えると、私たちは問題が自分のものであることを意識する必要があります。

障害を持ったことから

野原智恵さんは、川越商業高校情報処理科の二年生。平成八年の夏休み、友達の家で脳内出血を起こし、意識不明にな

りました。何の兆候もなく、健康な野原さんを突然襲った出来事。病院に運ばれたものの十一日間は意識不明、回復後もことばが話せない状態が続き、入院は半年に及びました。そのため、出席日数が足りなくて留年。そして、右半身まひという症状が残りました。

「動かない右手、右足を切ってしまうたいと思つたこともありました」と野原さんは言います。しかし、友達に「そ

ういう考えはまちがっている。やれば動くようになるのだから、ちゃんとやりなよ」と励まされ、回復に向けて努力を始めたそう。

障害によって、両手・両足が使えて普通という考えから、自分の普通でいいと思ふようになり、周りの人に負けたくない、と考えるようになったそうです。「障害を持たなかったら、きつたいへんそうなおおあちゃんを見ても助けてあげた

いという気にならなかつたけれど、今は、助けなくちゃと思います。しかし、力になれなくて、はがゆいという気持ちになります。そこには、自分とほかの人のかわりが生まれました。

一年生の時に担任をしていた柳橋岳夫(やなぎはし たけお)教諭は「第一印象は自信を無くしているなど感じました。無理に後押しすると、その期待に押しつぶされかねない。本人の気持ちを大切にしながら、少しずつやる気を育て、そして伴走してあげることが大切だと思いました」と復学当時の様子を話します。

柳橋教諭は、野原さんの状況を考え、パソコンを勧めました。動きが動かないため、筆記や簿記は思うようにできません。しかし、パソコンならキーボードとマウスの操作で動かすことができます。健常者以上の努力は要しますが、野原さんは自宅にもパソコンを購入して努力し



マウス操作はそのまま左手、テンキーはちょっと苦手。

ました。お母さんに送迎してもらったため、自宅で過ごす時間が増え、帰ってから授業の復習をしたり、借りた友達のノートで勉強したりするそうです。

現在は、情報処理検定二級、コンピュータ利用技術検定二級、ワープロ検定三級、簿記検定三級を取得しました。「コンピュータは楽しい」という野原さん。来年は就職活動の年になるため、より有利な資格を取得し、健常者に負けないように頑張りたいと考えています。

パソコンを通して

障害者を支援するパソコンの可能性は大きく、仕事のほか、情報を得る、コミュニケーションを図るなどの道具として、さまざまなところで活用されています。野原さんは、一般のキーボードとマウスを左手で用いていますが、障害が重い人には一般のものが使えない場合があり、そうした人たちのためにアクセシビリティを向上させたパソコンもあります。そうした考え方が、さまざまな方面に波及すれば、多くの道具が障害者にとって使いやすいものになるはず。また、障害を考慮して作られた道具は、高齢者および健常者にとっても使いやすいものになることも考えられます。

機械の導入によって人の仕事が減ったり、仕事の内容が大きく変わったりするケースがありますが、時代とともに変わっていくものに無理な抵抗はできません。動向を前向きに受け入れることが、将来の生活に役立つことになりそうです。

知的障害について

知的障害者の行動は少し変わって思われることがあるかもしれませんが、障害の程度にもよりますが、会話が理解しづらかったり、大きな声を出したりすることが、健常者を遠ざけることもあります。また、制度などに用いられる「精神薄弱」ということはわかりにくく、「知恵遅れ」というとすべての能力が劣っているように思われてしまいます。知的障害者の支援施設を訪ねると、知的には未発達なもの、ユニークな個性を持った人たちということがわかります。精神薄弱者更生施設親愛学園(今福)を訪ねました。

支援施設を訪ねて

人生をトータルに支えて

「人生は自分で意思決定し、情報を選択しなければなりません。それは、障害者も健常者も同じです。重く思われている障害者でも自分の判断を大切にしています」と言う矢部薫施設長。同園では、作業や旅行の行き先について簡単な手段と説明を用いて選んでもらうなど、各自の意思を尊重して事業を行っています。同園は入所施設ですが、通所施設を併設したことによって地域とのかかわりがさらに深まったそうです。「施設も時代にあったものでなければなりません。地域を結ぶ福祉の拠点となることが求められています」という矢部施設長。ことし二

十周年を迎え、特に在宅福祉サービスに力を入れています。また、入所部では開園当初からの利用者が高齢化したこともあり、若い障害者の更生を図る「地域生活援助グループ」のほか、高齢者の余暇や趣味などを提供し、幅広い年齢層に対応する「生きがい生活グループ」を設けています。

福祉は、時代とともにレベルアップしました。それをムードに終わらせることなく、地域に定着させるために外との交流を重視。教育実習で施設にやって来る年間六十人くらいの学生のほか、延べ千人以上の地域ボランティアを受け入れています。また、福祉のネットワークによってほかの関係機関とも連携、ひとりひとりの人生をトータルに支えるサービスをコーディネートしています。

かけがえのない人生です

親愛学園の在宅障害児・者の相談窓口として障害を総合的にまもって考えるのがコーディネーターの吉田郁子(よしかい)さんです。施設では、必要ときに必要なサービスを提供し、本人・家族といっしょによりよい方法を考えています。相談窓口は専門的な場所として安心していただけ、施設から地域を見ることがよって地域の人たちに信頼されています。また、障害を持つ方が幸せな地域生活を送るため、このまちに必要な支援体制、サービスを考えていきます。

「私たちが生きているのは「かけがえのない人生」です。自分の人生をそう思うなら、ほかの人にも同じ人生があると考え、それを大切にしたいと思います。」

頑張っています

親愛学園では通所部を設け、ジャム作り、プラスチック加工品の組み立て、ハーブ栽培などの外作業、園芸の手伝いなどの作業を行っています。通所利用者は、仕事に追われない程度の無理のない仕事を午前と午後それぞれ二時間行います。仕事による収入は一人、月七千円から一万円くらいです。

ジャム作りは、いちご、りんご、ゆずなどを仕入れて冷凍保存し、年間を通して製造しています。訪ねたときは、ゆずジャムを煮立てるなべを熱心にかき混ぜる作業中。周囲にこぼれやすい季節の香りが漂っていました。

瓶詰めは、職員の指導を受けながら、はかりを見て二百グラムちょうどにします。この作業にかかわっているのは二人。

下ごしらえからラベルはりまでを行います。ジャムは無添加。なべに残ったものを前日焼いたパンといっしょに試食すると、いずれも材料をふんだんに使った本物の味でした。

ハーブ・野菜の栽培は、近くに借りている畑で行い、園芸の手伝いはビニールポットをケースに並べるもの。また、プラスチック加工品の組み立ては、材質が異なるために機械では組めない部品を組み合わせるものです。利用者は、働き始めると速かったり、止まるとしばらく休んでいたり、それぞれのペースで仕事をしています。

園芸と組み立ては、近くにある園芸農家、プラスチック加工会社の理解と協力によって行われています。地域が施設を支援し、働く場所が施設に近いことが施設利用者にとって快適な環境になっているようです。

た。また、入所者を大人として考え、一斉にあいさつをしないで自主的なあいさつをしているところが印象的だったそうです。初めてボランティアをした高校一年生の時のことを思いながら「人を信じる知的障害の方の純粋さは、私自身が素直になれるようです」と言います。初めは抵抗があっても、話しているうちに楽しくなると感じたそうです。

「入所者と職員のコミュニケーションがよく、触れ合う時間があるので仲よくなれることを感じました。平均年齢が高いのに皆さんを見てみると若く感じます」と言う芳賀(よしかげ)さん。高校三年生の時に保護の見学に行き、障害者と接したことから障害福祉に関心を持ったそうです。映画の影響も受け、心に残っている「学校II」に登場する障害者のセリフを紹介。説明に少しことばを詰まらせたところに芳賀さんのやさしさが感じられました。

施設で学ぶこと

親愛学園を訪ねたとき、将来は福祉関係の仕事を考えているという東京国際大学三年生の三人が実習にきていました。

「入所施設の利用者というと全介助の必要な方が多いと思っていました。しかし、施設という慣れた環境の中ではADL(日常生活能力)は自立できていて、ほとんど身の回りのことができることに驚きました。また、地域活動が活発で開けた施設という印象を感じました」と言う佐藤高子(さとう たかこ)さん。初めて知的障害の施設でボランティアをしたとき、この道が合っていると直感したそうです。そのときの気持ちを尋ねると「知的障害の人は、みんなやさしくて、こちらが受け入れられている感じがします」と答えてくれました。

荒井美智子(あらい みちこ)さんは、施設ボランティアの経験から、利用者の日常生活能力の自立と明るく社会的なことに驚いていまし



写真・上 プラスチック加工品の組み立て
写真・中 園芸作業の手伝い
写真・下 生みたての卵を洗う

精神障害について

現在、精神障害は医療・保健・福祉の各分野で自立と社会参加への取り組みが行われています。しかし、一般に精神病は理解されにくく、社会の誤った考え方が、偏見・差別を生んでいます。

精神障害は「心の病」と言われ、カウンセリングによって悩みを和らげるなどの治療が行われます。また、薬によって病気の症状を抑制しながら生活していることから、薬を飲む余裕に加え、行動が鈍くなるなどの副作用への理解が必要で、ところが、それには、精神障害であることを知らせなければならぬため、相談もできず、理解も得られないというのが現状です。

「精神障害は、これまで特別なものと言われてきました。正常なものとは異なるものと考えられたため、偏見によって社会参加は大きく遅れています。しかし、精神障害は、心のわずかな部分に機能障害を持つものの、一般の人と変わらないものです」と川越同仁会病院(新宿町四丁目)の「宮祐子」名譽院長は言います。

いつしよにいるから

皆さんと同じです

川越同仁会病院が設置している「樫の実授産施設」と併設されている「かわごえ生活支援センター」を訪ねました。「樫の実授産施設」は、集団活動が可

能な程度に日常生活の自立ができていない精神障害者の社会復帰と社会参加促進のための通所授産施設です。また、就労を希望している方に対して訓練と生活支援を行っています。「かわごえ生活支援センター」は、地域に暮らす精神障害者を利用対象者として生活相談に応じたり、助言・指導を行ったりして地域生活を支援する施設です。

両施設で働く方に尋ねると、皆さん共通して「知らないときは怖いと思っていました。接してみると健常者と同じです」「何もできない人かと思ったら、できることはたくさんあります」と言います。また、「人は、みんな同じように悩みを持つていて、それを名のか名のかのらなにかの差があつて、正直に言った人が障害者になつていく気がします」「黙っていけばわからないことでも必要以上に強く感じました。知っている人たちのなかにはないでしようか」と話す方もいました。

見えなくても形はあります

精神の「障害」は見えないため、どのようなサポートをしていいのかわかりません。身体障害の場合は、失った機能に代わる道具が考えられますが、心には代用品がありません。しかし、「何をサポートしたらいいのかわからないのであるが、ままた受け入れることが大切だと思っています」という話もありました。

そうした会話を聞きながら、一宮名譽院長は「急性期の短い期間を除いて、心配はいらぬものです。同じく心の心の悩みを持つていても病院に來ないでいられるのは強い人です。心が繊細だから精神障害者推計四千六人に対して作業所もボランティアも足りないのが現状です。



精神障害のボランティアは、ほかのボランティアと少し異なる点があります。大野さんは「ボランティアは、自発的な活動です。どちらかというと個性があり、積極的な人が多いのですが、精神障害の場合は、それがあつてマイナスになることがあります。自分の意見を押しつけたり、相手の迷惑になったりすることもあります。自分の価値を言うことが、例えば「頑張つて」と励ますことが、かえつて障害者の心を痛めてしまうため、相手のテンポに合わせる必要があるのです。また、相手を理解し、共感できる感

できることからバリアフリーに挑む

今、そして、これから

障害とのつきあいには、さまざまな問題があるほか、新しい問題が生じることもあります。それは、健常者の日常生活も同じことです。

「福祉」は弱者を守るだけのものではありませんし、特別な人だけのものでもありません。それは、参加する社会の中でそれぞれの「人」としての役割を果たすことからはじまるものです。人どうしのコミュニケーションが障壁になる場合もありますが、人間関係によって大きな効果をもたらされます。

私たちは、障害者の障害による不利(ハンディキャップ)をすべて無くしようと

こそ自分の心を病んでしまいません。その仕組みは方程式ではありませんから、無理に解こうとしないうほうがいいでしょう。普通の人と通の人として普通に接し、隣人として考えることが大切です。しかし、実は、ありのままに受け入れるのが、とても難しいことではないです。地域社会で支えなければならぬ障害者であることは事実ですが、障害者の個性を尊重した安らげる環境が心をつとておき、かわりあいを考えることです。仕事をし、生産をするということが難しい場合もあります。社会で一般の方と同じでなくても生活の自由さを改善するため、そつとサポートすることが社会参加につながります。家族の方も隠そうという考えから地域で応援して欲しいと思うようになっていいます。また、精神障害者とかかわるときは「相手の訴えを聞く」「訴える内容の



こを判断しない」「一貫した態度で臨むこと」が大切だと言います。これをご覧になって、判断することによって必要以上の刺激を避ける以外には、一般の交友関係にとつて大切なものと同じであることに気づかれると思います。

ボランティアの活躍

「アミーゴ」は「仲間」

「アミーゴ」は、精神障害者の社会参加を支援するボランティアグループです。代表の大野詠子さんに活動について尋ねました。平成六年に埼玉県精神保健総合センターが主催する「精神保健ボランティア講座(第三期)」に参加した大野さんたち。その修了生のうち、東武東上線沿線の人が集まつて「アミーゴ」を結成しました。

「精神の障害について、普通のおぼさである私たちが、精神障害者と社会の間に入って、精神障害者が普通の人であることを伝えたい」という大野さん。メンバーの皆さんは、心の世界のことに関心がある方が多いそうです。医療機関、家庭などの限られた生活範囲で暮らすことが多い精神障害者に専門家以外の日常生活をかかわりを提供し、あたりの生活を取り戻す支援をしたいといっています。

主な活動は、医療機関が行う行事のサポート、当事者との交流会、精神保健の講座などの啓蒙活動、埼玉県全域のボランティアグループである「埼玉精神保健ボランティアネットワーク(埼玉ネット)」参加など。また、作業所「工

受性も大切ですが、行きすぎると巻き込まれてしまうことがあります。できないことを無理にさせるのではなく、みずから頑張ろうとする意識を自然に持つてくれているように支援したいと思えます」と話していました。

ゆとりを持つていければ、心が見えてくることあります。「人とかかわることが好き」という大野さん。そのことばからは、人と人の出会いが、心の豊かさにつながるように感じられました。人どうしのいい関係が心をいやすとしたら、出会う人が多いほど人生は豊かになるのではないのでしょうか。

私たちも挑戦者です

障害者とかかわる機会のある方は「障害」を意識してはいけません。それは、「普通のこと」「あたりまえのこと」「自然なこと」として表されます。しかし、その「あるがまま」ということが、いちばん難しいのかもしれない。あるがままというのには、「何でもかまわず」ではなく、あるべき姿を知り、それを受け入れることとです。「障害」に挑むための意識を成り立たせるには、これまでの誤った見方・考え方、偏見・差別などを改めなければ

妨げるものが、私たちの「意識」であるなら、すぐにでも「バリアフリー(障壁解除)しなければなりません。

十二月五日・六日に総合福祉センターオアシスで「障害者の日(12月9日)」記念事業が行われ、精神障害をテーマにした一宮名譽院長の講演「精神の障害ってなに?」が予定されています(広報川越の編集日程によりこの記事は十一月に作成)。これまで、精神障害についてオープンに語られることは、ほとんどありませんでした。それだけに重要な出来事になることでしょう。

未来は、私たちが生き方を描き、ひらくもの。それは、社会参加する人が、力を合わせることで実現に近づきます。役割は異なるかもしれないが、それぞれが自分のできることを行つていく過程が「参加と自立」。そこでは、だれもが「挑戦者(チャレンジャー)」です。

日常生活の継続を支援する機構 (川越同仁会病院名譽院長・一宮祐子)
「地域生活支援センター」は、障害者プランの重点項目の一つとして実施された地域生活支援事業です。原則として援護寮、授産施設、福祉ホームに設けられ、地域に暮らす精神障害者が利用対象者になります。精神障害の基本は、ライフステージのすべての段階で人間としての復権を目指すものです。その中で地域での暮らしに視点が向けられたことは喜ばしく思われます。「地域生活支援センター」は医療機関・社会復帰施設ではないため、利用期間の制限はありません。デイケアや作業所とも異なり、プログラムに従うのではなく、気軽に立ち寄ることができ、個人の費用負担によって食事・入浴のサービスもついています。また、電話相談にも応じ、生活に必要な助言・指導をするほか、地域の暮らしをサポートし、その地域で利用できる社会資源と利用者のニーズを結びつけ、コーディネートする役割を担う、日常生活を継続するための有効な機構とすることができます。



Duet

デュエット

広報川越への「意見・感想」を紹介するコーナーです

はじまりは予防から

平成10年11月10日 (No.946)

「消防」がプロフェッショナルとなったのは、今から五十年前のこと。しかし、専門の組織ができたことから、それまでの自衛消防組織は、重要なものとして考えられなくなつたようでした。しかし、「阪神・淡路大震災」からその状況に変化が生じました。同時多発の火災に対する自治消防の能力にも限界があり、災害の教訓は、自分たちのことを自分で守る意識を強めたと言えます。現在、川越市内では、自治会を中心に自主防災組織づくりが進んでいます。それは、自分たちの大切な命・家族・財産、そしてまちを守るものです。



予防からはじまる災害への備え (No.946/2-3ページ)

囃子の流派

広報川越九四四号に掲載されていた「川越市内に伝わる主な囃子」にある囃子のうち、現在演じられている流派とは異なると思われるものがあります。できれば、そのことがわかるようにしておくほうがよいと思います。

匿名

している方は「調子」を身体で覚えていて、いろいろ聞き分けられるという印象を受けました。また、取材とその後感想などを通して、山車保有町内のほか、それぞれの囃子連中が自分の所属する連に愛着を持っているということも強く感じました。

川越市案内図について

「転入手続きのときにいただきたい「川越市案内図」が古くなってしまいました。新しいものは、もたないのでしょうか」という問い合わせをいただきますので、この場を使って説明します。

追い羽根には使いません

広報川越九四四号の「おしゃべり倶楽部・気になる木」にオオモクゲンジを紹介したところ、記事に誤りがあることを指摘いただきました。

追い羽根の玉に用いられるのは、「ムクロジ」(ムクロジ科ムクロジ属)の種子。オオモクゲンジは近似種のムクロジ科モクゲンジ属ですが、ムクロジとは異なり、追い羽根には用いられないとのことでした。記事を作成するときに混同したため、誤ったもので。ご指摘ありがとうございました。

エルピーガス協会川越支部と災害協定を締結



舟橋功一市長と協定書を交わす伊藤賢二川越支部長

支部から流通過程にあるLPガスの優先供給を無償で受けられるようになりまし。対象となるLPガスは、二十キログラムボンベ三十本、五十キログラムボンベ三十本です。

- また、同時にカセットコンロ百五十台とカセットガスボンベ四百五十本の寄付をいただきました。ありがとうございます。
- 川越市が現在締結している災害協定**
- ① 災害時における相互応援 (群馬県高崎市)
 - ② 水の供給および備蓄品の保管 (埼玉冷蔵倉庫)
 - ③ 医療救護活動 (川越市医師会)

- ④ 医薬品等備蓄供給 (市内卸四社)
 - ⑤ 冷凍食糧品の優先供給 (西武米穀)
 - ⑥ 精米の優先供給 (市内卸三社)
 - ⑦ ヘリコプターの優先利用 (朝日航空・エースヘリコプター)
 - ⑧ 緊急設備支援 (セレスポ)
 - ⑨ 避難場所の相互利用 (大宮市)
 - ⑩ 災害時の情報提供等に関する協定 (市内タクシー会社九社)
 - ⑪ 災害時における相互応援に関する協定 (川越西郵便局)
 - ⑫ 災害時における相互応援に関する協定 (坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町)
- 問い合わせ：総務課防災係 内線 2217

財形制度をご利用ください

財産形成(財形)制度は、勤労者の貯蓄や持ち家取得といった財産づくりのための努力に対して、国や事業主が援助・協力することを目的としています。

- 財形制度には、次のようなものがあります。
- 勤労者が計画的にお金を貯める「財形貯蓄制度」
 - 事業主が勤労者のために金銭を拠出して積み立てる「財形給付金制度」「財形基金制度」
 - 財形貯蓄を育児、教育等のために支出する勤労者の自助努力を支援する「財産形成貯蓄活用給付金・助成金制度」
 - 中小企業事業主の財形事務負担を軽減する「事務代行制度」「中小企業財形共同化支援事業助成金制度」
 - 勤労者に持ち家取得資金を融資する「財形持家融資制度」、教育資金を融資する「財形教育融資制度」

問い合わせ：埼玉雇用促進センター ☎048-838-7726

市長への提案から

No.52



川越市長 舟橋功一

保健・医療・福祉の総合相談窓口をつくります

市民目安箱にいただいたご意見を紹介します。

【提案要旨】

新しい総合保健センターの建設が進んでいるようですが、完成後はどのような機能を持った施設になるのですか。

【お答え】

21世紀が間近に迫り、本格的な高齢社会を目前にした現在、市民ニーズの多様化や疾病構造の変化にこたえるため、保健部門・検診部門の高度の充実、さらには高齢者在宅福祉との連携拠点施設が必要となっています。

来年4月、小ヶ谷地内にオープン予定の仮称川越市総合保健センターは、市民の健康づくり、保健・医療・福祉の連携の拠点として、疾病予防からリハビリテーションに至る保健サービス、高齢者の在宅介護を支援する福祉サービスを行おうとするものです。

将来は、コンピューター室を設置し、検診結果などをデータベース化して健康づくり事業のいっそうの充実を図ります。また、オンライン回線などにより老人福祉サービスと連携し、保健と福祉の情報を一元的に管理して一か所で適切な相談・助言、申請手続きができる総合窓口システムを目指します。

主な事業としては、乳幼児や成人の健康診査、お子さんの予防接種、健康相談や健康教育、成人や妊婦の歯科検診、お年寄りの機能訓練、在宅福祉サービスに関する総合相談などを予定しています。

オープン後の市民の皆さんのご利用をお待ちしています。

問い合わせ…健康課管理係 ☎内線2571

介護保険シンポジウム

介護保険準備室 内線2581

本当の幸せの追求

介護保険制度の導入にあたって

十一月七日、やまぶき会館において、介護保険シンポジウム「本当の幸せの追求」介護保険制度の導入にあたって」が開かれました。読売新聞社編集局参与 水巻中正さんの基調講演のほか、佐藤進さんをコーディネーターとして、四人の方をシンポジストに迎え、さまざまな角度から意見を伺いました。

これからますます重要になる問題とあって、会場には多くの方が詰めかけ、熱心に聞き入り、また質問を投げかけていました。

第5回川越市介護保険事業計画策定等委員会は、12月下旬に開催を予定しています。なお、会議は、当日委員会が許可した場合に、傍聴することができます。

基調講演 「なぜ、今介護保険なのか」

読売新聞社編集局参与 水巻中正

高齢者問題においては、二つの視点と考えられます。一つは、いかに元気で健康な高齢者をたくさんつくるかということ。もう一つは、介護が必要になった方に対し、どういうふうに行行政や地域の人が手を差し伸べるかです。

「なぜ、今介護保険なのか」というのは、この二つめの視点について、どういう形で手を差し伸べるかということだと思います。



講演をする水巻中正さん

日本の医療と福祉の中で、医療制度や年金制度は世界でもトップクラスですが、福祉は遅れてきました。また、日本では寝たきりが多いといわれます。北欧などへ行くと、寝たきりは一〜二パーセントしかいません。

どうして日本はそんなに多いのかというと、社会福祉施設や老人病院に、十分なマンパワーがないからです。ですから寝たきりが多いというより、寝かせきりが多いということなのです。十分なマンパワーがあれば、寝たきりはほとんど減ると考えられます。そうすることにより、高齢者の自立と尊厳を保つことになり、やがて社会復帰につながると思います。

介護保険制度は二〇〇〇年の四月からスタートします。事業主体は自治体であり、市町村です。その

市の町村が十分に動いていないということから、保険料を払っても十分なサービスを受けられないのではないかと不安が高まっているのだと思います。

このような状況の中で介護保険制度が始まり、もし十分なサービス提供が行われないと、どういうことが起こってくるか。十分なサービスが行われている市町村があるのと、そこへの介護移行が行われるのではないかと考えています。

また、もう一つ考えられるのは、寝たふり現象です。介護保険では、調査員が家庭を訪問して、その結果に基づいて認定し、サービスを提供するということになるのですが、その際に実状より症状を重く見せようとすることが考えられます。例えば、隣のまちでは同じような症状の人に三のランクのサー

ビスが提供されるのに、このまちでは二のランクのサービスしか受けられないということになると、症状を重く見せようとするのが考えられます。それがもし全国的に起こると、介護サービスは完全に崩壊します。そういう意味では、審査は公平・公正で、だれが見ても同じだということにならなければ、納得しないということです。

このように、新しく始まる介護保険にはさまざまな問題点が山積しています。しかし、だからといって介護保険制度を止めるわけにはいきません。介護をする人に温かい手を差し伸べるのは行政、またわれわれ国民です。これからは走りながら制度を充実させていくしかありません。

今から、住民は行政といっしょに考え、自分たちのまちにどのよ

うに介護保険制度を定着させるか、不平不満が出ないようにするにはどうするか、寝たきりをつくらないようにするにはどうするか、いかに信頼をつくっていくか、そういうことを走りながらやっていかなければいけません。

考えながら走るといふことを、私は提唱します。

介護保険制度の持つ意義・重要性はたいへんなものです。介護保険制度がうまくいくかどうかは、自治体と住民の肩にかかっているわけです。介護保険制度は、厚生省が発案して自治体が進めていくとらえている人もいますが、そうではありません。介護保険制度の主役は高齢者ですから、制度をいかにうまく運営していくかというところは、われわれ住民が先頭に立って考えなければいけません。

シンポジウム「わがまち高齢者保健福祉の将来像」

地域ケアにおけるこれからの

かかりつけ医の役割

川越市医師会会長 市川尚

介護保険制度を考えたとき、かかりつけ医に求められる役割は非常に大きなものです。

要介護の状態になったとき、かかりつけ医はどのように関与していくのか。かかりつけ医の意見書がないと、介護保険給付の申請ができないわけですから、要介護になる前からかかりつけ医を持っていて、自分にはどのような介護が必要なのかをわかっておく必要があると思います。また、今後はどのような形でその状態が変わっていくのか、介護だけではなく医学的な管理がどれくらい必要なのか、リハビリテーションが必要な場合はどの程度なのか、こうしたことを診てもらうことも必要です。



講演をする市川尚さん

介護保険制度において、介護度の高い方のためにベッドを空けなければならぬのは当然ですが、介護者がいない家庭、単身者など、行き場のない方、状態は改善して

も痴ほうの症状が残っている方の復帰の場がないという

ことは、たいへん問題です。今でもケアハウスはありますが、十分かどうかは不安です。介護付きの老人アパートも、痴ほうの方のグループホームのようなところも、市内にはありません。

複数の施設や機関がかかわって

共有する場が必要だと思います。今、川越市ではサービス調整チームをたいへん努力しながら続けていて、これは他市にないもので誇りに思っています。この組織のさらなる強化をお願いします。

今後、私たち自身も、いろいろなサービスや制度を知る努力をするとともに、自分の健康維持のため、社会にある資源をうまく使って、自分を律しながら自立に努めていきたいと思います。

福祉施設の現場体験から

社会福祉法人真寿会理事 町田清子

介護保険制度において、介護度の高い方のためにベッドを空けなければならぬのは当然ですが、介護者がいない家庭、単身者など、行き場のない方、状態は改善して

も痴ほうの症状が残っている方の復帰の場がないという

ことは、たいへん問題です。今でもケアハウスはありますが、十分かどうかは不安です。介護付きの老人アパートも、痴ほうの方のグループホームのようなところも、市内にはありません。

複数の施設や機関がかかわって共有する場が必要だと思います。今、川越市ではサービス調整チームをたいへん努力しながら続けていて、これは他市にないもので誇りに思っています。この組織のさらなる強化をお願いします。

今後、私たち自身も、いろいろなサービスや制度を知る努力をするとともに、自分の健康維持のため、社会にある資源をうまく使って、自分を律しながら自立に努めていきたいと思います。

豊かで充実した人生を送るための住まいと住まい方

国際医療福祉大学教授 林玉子

バリアフリーとは、私たちの心身の機能を妨げるものをすべて取り除いた状態という意味ですが、今後はこれを常識にしてほしいと思います。車いすで使える出入り口にすれば、自分が車いすになっても出られ、車いすの友達も来られます。玄関は社会への窓口です。出入り自由な状態にすることが大事です。バリアフリー住宅はリフトなどを備えた重装備の住宅と

思いがちですが、リフォームしやす

い住宅でもよいので

住宅を整

えるという

ことは、本人の生活の質を上げる、住み慣れた家で自立して過ごせるということなのです。特別養護老人ホームでは寝たきりだった方が、自宅を改造して家に戻ったからは、手すりを使って歩けるようになったという例もあります。

これからは、道具を活用して暮らすことが大切です。健康な老人が衰えた老人を見る、助け合う時代になります。衰えた人も、若い子どもも共生できる環境が実現できるとすばらしいと思います。

母を介護して思うこと

在宅介護者友の会 細田浩子

八十八歳の母を七年前から介護しています。少しずつ痴ほうの症状が進み、はいかいても伴い、どうしてよいかわからず、おろおろするばかりでしたが、真寿園に在宅介護支援センターがあることを思い出し、相談をしてみたところ、知識のない私にいろいろと教えてくださいました。それから介護についての勉強が始まりました。巡回相談、公民館でのヘルパー養成研修など、手当たりしだいに挑戦しているうちに、市の福祉のあれこれがわかり、市役所に行き、手続きをして現在に至っています。

平成十二年度より介護保険が導入

入されますが、要介護者や介護者にどんな影響があるのか、心配な面がたくさんあります。在宅で、今よりも安心できる環境となるよう願っています。私自身も、いつ要介護者になるかわからないと心しています。また、そうならぬよう、今まで以上に心も体も鍛え、運動や趣味を通じての仲間や和を

大切にしたいです。母の介護に努めていきたいと思っています。

シンポジストが語る

新潟青陵女子短期大学特任教授 佐藤進

日本の高齢化社会が急速に進んでいることにより、高齢者は家族で介護するもの、という認識から、介護する家族を支援していくという認識に変わってきています。

介護保険は、財政面、要介護認定など、まだまだいくつも大きな問題をかかえています。これらの問題は、老いを迎えるすべての人、そして現在の子どもたちにも、関係ある問題だと考えてほしいと思います。

北欧など、福祉先進国といわれ

る国々も、最初から豊かだったわけではありません。長い時間をかけて、福祉を蓄積してきました。

本来なら、経済的に一番豊かである国が、福祉も豊かであるべきです。

したが、日本は現在の不況の時代になって福祉の必要性に迫られるようになってしまいました。

二十一世紀に向けて、かなり厳しい時代・高齢化社会の到来だといふことです。遅れていても、一歩一歩自分たちで作り上げていくことが必要だといふことです。



介護保険シンポジウム

援するサービス体系を確立することが大切で

とが大切で

とが大切で

とが大切で

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1月	
日	月	火	水	木	金	土
	3	4	5	6	7	8
					1	2
					3	4

年末年始の事業案内

ごみの収集

■燃えるごみ

年末年始の燃えるごみの収集日程については、環境業務課にお尋ねください。
*年末には多量のごみが出されるため、収集時間がふだんと異なる場合があります。必ず午前8時までに出示してください。

問い合わせ…環境業務課管理係☎内線2631

■燃えないごみ

「びん、かん・ペットボトル」「不燃ごみ」の収集は「平成10年度収集日程表」のとおりです。

問い合わせ…環境業務課管理係☎内線2631▶清掃事業所☎23-0912

■紙類

「紙類」の収集は「平成10年度再生資源(紙類)収集日程表」のとおりです。

問い合わせ…環境業務課管理係☎内線2631

■集積所に出せないごみ

引っ越し等で一度に出る多量のごみまたは事業系ごみは、ごみ集積所には出せません。直接、清掃センターに運ぶか、市の許可業者に運搬を依頼してください。

受付時間…午前8時40分～11時50分▶午後1時～3時

受付場所	区分	休み
東清掃センター	可燃のみ	土・日曜日、
リサイクルセンター	不燃のみ	祝日、休日、
西清掃センター	可燃・不燃	12/29(火)～1/3(日)

*年末年始は込み合いますので、持ち込む場合は早めをお願いします。

*新聞・雑誌・段ボール等の紙類やバッテリー・タイヤなどは、市の清掃センターでは受け付けません。処理方法等は、お尋ねください。

問い合わせ…環境業務課管理係☎内線2631▶清掃事業所☎23-0912▶東清掃センター☎23-2645▶リサイクルセンター☎23-8200▶西清掃センター☎32-8744

施設の案内(休みます)

12/29～1/3が休み	
●市役所本庁舎、各出張所・連絡所、証明センター	
*出生届・死亡届・婚姻届の受け付けと葬祭用具の使用申し込みは、本庁舎地下1階当直室で行います。	
*自動交付機も、上記期間は取り扱いできません。	
●市立診療所	☎24-2648
●保健センター	☎24-8611
●生活情報センター	☎26-7476
*相談業務は12月29日(火)から1月5日(木)まで休みます。	
●婦人会館	☎42-6346
●市民会館・やまぶき会館	☎22-4678
西文化会館	☎33-6711
南文化会館	☎48-4115
*平成11年12月の利用予約は1月4日(月)(午前9時～午後3時)から受け付けます。	
●市民体育館	☎23-0103
●武道館	☎24-7220

12/28～1/4が休み	
●総合福祉センター・オアシス	☎28-0200
*12月27日(日)は午後5時閉館、温水プール等の利用時間についてはオアシスへ。	
●市立図書館	☎22-0559
●市立博物館	☎22-5399
●蔵造り資料館	☎25-4287
●本丸御殿	☎24-6015
●児童センター	☎25-7288
*12月27日(日)は午前のみ開館。	
●サンライフ川越・芳野台体育館	☎25-5445
*12月27日(日)は午後5時まで。	
●公園管理事務所	☎22-1301
*2月分の利用予約は1月6日(火)、午前8時30分から受け付けます。	
●農業ふれあいセンター	☎26-6551
●東後楽会館	☎24-3366
●西後楽会館	☎32-6177

12/28～1/3が休み	
●公民館	
*2月分利用予約は1月4日(月)から受け付けます。	
●勤労青少年ホーム	☎22-5241
●小ヶ谷老人憩いの家	☎45-8494
●高階北老人憩いの家	☎48-6565
●高階北学習情報館	☎40-2906
*12月27日(日)、老人憩いの家と情報館は通常の休館日です。	

12/28～1/5が休み	
●川越運動公園	
総合体育館・テニスコート	☎24-8765
陸上競技場	☎24-8881
*2月分の利用予約は1月6日(火)(午前8時30分～午後8時)から受け付けます。	

■そのほかの休み	
●斎場(☎42-2739)	1/1～3
●市営幸町・連雀町駐車場	1/1・2
●川越駅東口公共地下駐車場	1/1

年末年始の診療機関(12月29日～1月3日)

■川越市休日急患診療所(内・小)		■年末年始の当番医	
小仙波町2丁目45-5	☎23-0601	12.29(火)…三井病院(内・外・整外)	連雀町19-3 ☎22-5321
受付時間…午前9時～11時▶午後1時～3時▶午後8時～10時30分		12.30(水)…武蔵野総合病院(内・外ほか)	大袋新田977-9 ☎44-6340
		12.31(木)…行定病院(内・眼)	脇田本町4-13 ☎42-0382
		1.1(金)…池袋病院(内・外ほか)	笠幡3724-6 ☎31-1552
		1.2(土)…赤心堂病院(外・産婦)	脇田本町25-19 ☎42-1181
		1.3(日)…広瀬病院(内・外)	中原町1丁目12-1 ☎22-0533
受付時間…午前9時～11時30分	☎24-3891		

集積所に出せないごみを直接、清掃センターへ運ぶ場合は、12月28日(月)までをお願いします。 問い合わせ…環境業務課管理係☎内線2631

市職員を募集します

採用予定人員は、欠員状況等により変更になる場合があります。

職種・募集人員・受験資格

- 用務員A(斎場、出張所、保育園、小・中学校の用務等)・八人
- 用務員B(ごみの収集等)・二人
- 清掃員C(し尿の収集等)・一人
- 普通自動車運転免許を持つ昭和39年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた方
- 普通自動車運転免許を持つ昭和39年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた方

1日までに生まれた方

■自動車運転手兼業務員D(職業センター利用者の大型バスでの送迎、作業指導等)・一人

■調理員E(給食センターでの食材の搬入出、調理等)・五人

■試験日：来年1月17日(日)
■試験会場：埼玉県川越商業高等学校(旭町二丁目三七七)
■募集案内・申込書の配布
各出張所、南連絡所(川越駅東口アトレ一階)、川越連絡所、本川越駅証明センター(本川越二階)で配布中です。

受付場所：市役所五階5A会議室(郵送不可)

採用試験
試験日：来年1月17日(日)
試験会場：埼玉県川越商業高等学校(旭町二丁目三七七)
募集案内・申込書の配布

募集案内・申込書の配布
各出張所、南連絡所(川越駅東口アトレ一階)、川越連絡所、本川越駅証明センター(本川越二階)で配布中です。

年末年始の事故防止にご協力ください

年末年始にかけては、大掃除や施設の再始動により、汚水・廃油の流出事故が発生しやすくなります。また、多量の廃棄物の焼却を行うと、大気汚染を引き起こすことがあります。

●溶剤・油類・酸・アルカリ溶液等、廃棄物の処理・処分を適正に行う。

●廃棄物の焼却を控える。特に解体廃材やプラスチック類は、焼却することにより黒煙や悪臭が生じるため、絶対に焼却はしない。

*事故が発生したときは、速やかに応急処置をとるとともに、環境保全課まで連絡してください。

下水道排水にも気をつけて
公共下水道は、何でも流せるものではありません。廃液や廃油などを不用意に流したり、捨てたりすることは、終末処理場の機能低下につながります。あなたの何気ない行為が河川汚濁につながる可能性があります。年末年始は、下水道への排水にも気をつけましょう。

下水管やマンホールなどからの異常に気づいたら、下水維持課まで連絡してください。



事業者の皆さんは、次のことに注意して、流出事故や大気汚染の防止にご協力ください。

●施設の運転停止、始動時にバ

●施設の運転停止、始動時にバ

問い合わせ：環境保全課水質対策係 ☎内線2614

10・8・28集中豪雨災害義援金をお配りしました

8月28日早朝に川越市を襲った集中豪雨は、市内各所に大きな被害をもたらしました。この被害に対して、多くの市民・団体から心のかもった義援金と義援物資が寄せられました。

市では、「10・8・28集中豪雨災害義援金配分検討委員会」を設置して、これまでに寄せられた義援金と日本赤十字社埼玉支部からの義援金を合わせて、床上浸水の被害にあわれた世帯に配分することに決定し、11月28日・29日の両日にお配りしました。

皆様の1日も早い生活再建をお祈り申し上げます。



川越市に大きな被害をもたらした8月28日の集中豪雨

- 対象世帯 737世帯
 - 義援金額 37,383,694円
 - 1世帯配布額 50,000円
 - 義援物資日用品(入浴剤等) 1世帯1セット
 - *義援金残余金1,744円は、川越市災救助基金に寄付しました。
 - *配分終了後の義援金は、川越市災救助基金に寄付します。
- 問い合わせ…福祉課総務係☎内線2511

工業統計調査にご協力ください

十二月三十一日、通産省では、全国一斉に「平成10年工業統計調査」を実施します。調査は、製造業の事業所を対象に、その実態を明らかにすることを目的とし、国や都道府県の施策立案の基礎資料となります。調査内容は、統計法によって保護され、本来の目的以外に使われることはありません。

調査方法は、県知事が任命した調査員が、対象事業所を訪問し、調査票を配布・回収します。ご協力をお願いします。

調査期間：12月下旬～来年1月中旬

問い合わせ：情報統計課統計係☎内線2275

生涯学習基本構想・基本計画にご意見を!

平成十年度末の策定に向けて

「川越市生涯学習基本構想・基本計画」の素案を作成しました



★生涯学習基本構想の柱

- 1 市全体が取り組み、生涯学習を推進します
- 2 関係団体・高等教育機関を含めたネットワークを作り、生涯学習を推進します
- 3 生涯学習による人づくり・まちづくりを進めます

生涯学習は、昭和六十一年の第二次教育改革に関する答申で、教育改革の中心的な柱として提案された新しい教育体系の理念です。それまでの学歴社会の弊害を是正し、個人の学習した成果がいろいろな形に評価される「生涯学習社会への移行」を目指すものです。その理念を具体化するためには、いつでも、どこでも、だれでも必要に応じて学ぶことができる学習環境を整備することが必要になります。

この生涯学習を推進するために、川越市では平成九年度に市長を本部長とする「川越市生涯学習推進本部」と市民の代表で組織する「川越市生涯学習推進懇話会」を発足しました。ここでは、「川越市生涯学習基本構想・基本計画」について協議しています。

この構想・計画は、川越市の生涯学習推進のための基本的な方策を示すものです。構想・計画を実現するためには、市民・行政、さらには関係団体などの連携が必要です。市民の皆さんの貴重な意見、提案をいただき、さらに充実した構想・計画としていく予定です。多くの方のご意見をお待ちしています。

詳しい内容については、素案を生涯学習課・公民館・市立図書館・市立博物館に用意してありますので、ご覧ください。



応募締め切り：来年1月14日(木)(必着)

送付方法：生涯学習課・公民館・市立図書館・市立博物館に用意してある規定の用紙を利用して、郵便またはファクスで送付します。

*インターネットの電子メールでも受け付けます。

提出先：〒350-8601川越市役所生涯学習課

TEL 26-4699

skawagoe@shogaigakusyu.pref.saitama.jp

問い合わせ：生涯学習課生涯学習推進係 内線26923

基本構想素案

- 第1章 生涯学習推進の意義
 - 1 生涯学習とは
 - 2 生涯学習の必要性
 - 3 生涯学習と市民憲章
 - 4 生涯学習とまちづくり
- 第2章 生涯学習社会の実現に向けての課題
 - 1 急激な社会変化と私たちの課題
 - 2 生涯学習を推進していくための課題
 - 3 生涯学習とまちづくりからの課題
- 第3章 生涯学習推進の目標
 - 1 第1の目標
 - (1)心の豊かさをはぐくむ生涯学習の推進
 - (2)ライフステージに応じた学習機会の提供
 - (3)社会の変化に応じた現代的な課題の学習機会の提供
 - 2 第2の目標
 - (1)生涯学習によるまちづくりの推進
 - (2)市民が健康で生き生きと暮らすまち
 - (3)歴史と文化が融合したまち
 - (4)自然と人の暮らしが調和したまち
- 第4章 生涯学習推進の方策
 - 1 生涯学習推進体制の整備・充実
 - 2 学習情報の提供と学習相談体制の整備・充実
 - 3 ライフステージに応じた学習機会の充実とネットワーク化
 - 4 現代的な課題に応じた学習機会の充実とネットワーク化
 - 5 生涯学習施設の整備・充実とネットワーク化
 - 6 生涯学習センターの設置
 - 7 人材の養成・活用とネットワーク化
 - 8 学校教育と社会教育の連携・融合
 - 9 高等教育機関との連携



燃えやすい物のそばにストーブを置くのは危険

タコ足配線は危険

ストーブの上に物を置くのは危険

火量の調節は適性に

川越地区消防組合 ☎22-0700

火の元にご注意ください

寒さが厳しくなり、どこの家庭でも暖房器具を使用する回数が増える師走。特に年の瀬は、仕事や家事で慌ただしい生活を送ることになり、ついつい、ほかのことをしながら、火を使うことが多くなってしまいう時期です。

不注意、習慣、過信などから火事につながるケースがよく見られます。火事を起こしてしまったら、悲しむのは自分ばかりではありません。家族、親せき、近所をはじめ、いろいろな人に迷惑がかかります。

「あのとき、火の元から離れなければ……、あのとき、火を消していれば……」と、後悔しても、失ったものは戻ってきません。

「……しながら火を使う」。この「……ながら」行為をなくすことで、火事になる危険性を低くすることができるのではないでしょうか。ちょっとした気持ちや行動が、火災予防へとつながります。

ことしもあと数日、年の終わりと年の始めを気持ちよく過ごせるように、年末年始の火の元には、十分に気をつけましょう。

ふるふる 振動でお呼びします

市では、12月1日から耳の不自由な方が、窓口に手続きに来られた場合、手のひらサイズの「振動呼び出し器」をお渡しして、手に持っていただいています。

この呼び出し器を持っていただくことで、混雑時や離れた場所で各種手続きをしている場合でも、確実にお呼びすることができるようになりました。

現在、この「振動呼び出し器」は、市民課に2台、障害福祉課に3台の計5台を用意しています。

ご利用ください。

問い合わせ…障害福祉課管理係 ☎内線2531



左側が職員用。右側が来庁者用。来庁者用の機器が振動して、呼び出しの合図を送ります。

留守家庭のお子さんを預かります

平成11年度学童保育室入室案内

学童保育室は、両親が働いていて、常時留守になる家庭のお子さんを預かる場所です。

保育室では、指導員が、異なる年齢の児童を集団の中で保護、指導しています。

平成十一年四月から入室を希望する方は、申請してください。なお、引き続き入室を希望する方も手続きが必要です。

学童保育室一覧

学童保育室名	電話番号	学童保育室名	電話番号
川越第一	24-4134	高階北	45-3906
川越	24-4755	高階西	44-6752
中央	24-3999	寺尾	46-0740
仙波	22-4877	福原	46-0036
武蔵野	42-6132	大東東	44-9783
新宿	42-6129	大東西	46-8780
大塚	45-2552	霞ヶ関	32-1328
泉	45-7232	霞ヶ関南	32-7070
月越	24-6656	霞ヶ関北	32-5253
今成	25-3747	霞ヶ関東	32-7959
芳野	24-7976	霞ヶ関西	32-5508
古谷	35-4725	川越西	32-5601
古谷東	35-4778	名細	32-4519
南古谷	35-1863	上戸	32-4518
牛子	46-0741	広谷	33-4790
高階	44-6753	山田	22-4151
高階南	44-4667		

●高階南・霞ヶ関北学童保育室は市立公園の中にあり、その他の学童保育室は同じ名称の小学校内にあります。

お子さん募集(家庭保育室)

家庭保育室では、平成十一年四月入室のお子さんを募集します。

家庭保育室は、仕事や病気、出産などでお子さんを見られない保育室に直接お申し込みください。

また、保護者が急病などで預かっている場合は、短期間でも預かっています。

詳しくは、各保育室へお尋ねください。

問い合わせ：保育課係内線 2555



入室を希望する方は、各家庭保育室に直接お申し込みください。

また、保護者が急病などで預かっている場合は、短期間でも預かっています。

詳しくは、各保育室へお尋ねください。

問い合わせ：保育課係内線 2555

入札参加業者の登録を受け付けます

平成十一年・十二年度に市が発注する工事または製造の請負、物品の購入等の入札参加業者の登録を受け付けます。

提出書類は、平成十一年一月六日(水)から契約課で配布します。

受付期間：平成11年2月10日(水)3月1日(月)(土・日曜日および祝日を除く)

受付時間：午前9時～11時30分、午後1時～4時

会場：市役所三階3A会議室

注意事項
建設工事等の審査基準日は、平成十一年八月一日直前の営業年度の終了日(決算日)です。その他については、平成十一年一月一日です。

また、建設工事について登録をしようとする場合は、平成十年七月一日から施行されている、新しい審査基準による経営事項審査結果通知書が必要です。

問い合わせ：契約課工事契約係内線2261



平成十一年八月一日直前の営業年度の終了日(決算日)です。その他については、平成十一年一月一日です。

また、建設工事について登録をしようとする場合は、平成十年七月一日から施行されている、新しい審査基準による経営事項審査結果通知書が必要です。

問い合わせ：契約課工事契約係内線2261

施設名	所在地	定員	電話番号
川越ベビーホーム	天沼新田269-1	20人	31-5638
緑ヶ森保育室	大袋新田697	8人	46-8754
つくし家庭保育室	砂新田2587-34	7人	44-4302
あざみ保育室	並木208-1	20人	35-2320
わかば保育室	吉田新田3丁目14-9	14人	31-9178
こばと保育室	砂1052-6	9人	45-9579
田村保育室	六軒町2丁目13-15	18人	25-2391
ねむの木保育園	菅原町7-14	20人	25-1663
上戸保育室	上戸277-21	20人	33-0583
入間塾託児所	山田1969-2	12人	24-5986
風の子保育園	松郷717-2	20人	24-1626
すみれ保育室	宮元町80-6	9人	22-5976
コアラ家庭保育室	神明町1-1	8人	24-4737
仙波保育室	仙波町3丁目20-26	8人	25-0444
片野保育室	野田町2丁目16-116	5人	44-0016
扇河岸保育室	扇河岸51-2	13人	46-9156
つぼみ保育室	六軒町2丁目13-8	15人	22-5778
かけはし保育室	上戸277-1	8人	31-5306
なのはな保育室	並木258-2	13人	36-0470
第2風の子保育園	松郷745-1	15人	24-1626
芳野保育園	谷中32-2	5人	25-6451
川越東口保育室	菅原町10-9	10人	23-3025
なのはな乳児保育室	並木67-1	12人	36-1940

同和教育シリーズ

⑦

このシリーズは、平成九年二月に宇都宮大学教育学部教授・横島章さんを招いて行った同和教育講演会の要旨を生徒学習課でまとめたものです。

同和教育の現状「心理的差別」

②就職問題について(三)

就職の問題については、選考・採用には本人の適性と能力のみを重視していくように改善されてきています。また、面接や作文などでも家庭環境がわからないようにするために、例えば「お父さんの職業は何ですか」ということは聞かないようになっております。

次に、思想信条の自由も守られなければいけません。家庭問題に入り込んではいけないということですから、ひとりひとりの思想信条も大切にしなければいけないということになります。面接等において、尊敬する人物はだれかという質問は、してはいけないということになりました。だれを尊敬するかによって、その人の内面が表明されてしまうわけですね。自分から自発的に言うのならよいのですが、他人が入社を条件にして強制することは問題であるということになったのです。

さらに、家庭ではどんな新聞を購読しているかということについても、それによって思想の方向性がわかる可能性があるため、聞いてはいけないということになっております。これは、雑誌についても同じです。このような質問はなく、あくまでも本人の適性と能力だけを重視して、選考・採用を行うべきであるとされています。

関西方面の高等学校では、就職面接を受けた生徒に対して、どんな質問がなされたかを報告させまわして、踏み込んだ質問に対しては直接、または職業安定所を通じて抗議しているということもです。このようなことを背景として、選考・採用における差別が少なくなつてきているわけですね。

ところで、学校の先生方は、生徒についてできるだけ多くの家庭環境等の情報を得ることが、生徒指導のプラスになると考えているかと思えますが、これまで述べてきたことを踏まえると、考え直すべき時期が来たと思えますね。

いづれにしても、こういう配慮によって、同和地区であるがゆえに、選考・採用において不利益を被ることは減少してきております。

Hello! 姉妹都市

セーレム市

冬の夜空に光のマジック

寒さが本格的になる十二月、アメリカ合衆国の各地域では、さまざまな色や形の光が、町並みを飾り始めます。姉妹都市セーレム市(オレゴン州)も例外でなく、一年で一番の盛り上がりを見せるクリスマスに向けて、市内は美しく彩られます。その規模は、各家庭で思い思いに家を飾る質素なものから、市や団体が主催する大規模な祭典まであり、どちらも地域の住民や訪問客の目を惹きつけます。

その中で、約四万人もの見物客を集めるイベントが、市内の電力会社主催する「フェスティバル・オブ・ライト・パレード」(光の祭典)です。



みんなでツリーを飾ります(昨年の様子)

光や音のマジックが冬の夜空を飾ります。この祭典の特徴は、毎年のテーマに沿って、光で飾られた多くの「フロート」(山車)がまちをパレードすることです。

また、「ツリーライティング」(光や装飾品で木を飾ること)も人気のイベントで、市内のリバーフロントパークでも十二月十五日に、大規模なツリーライティングが行われる予定になっています。このイベントで使われる木は、「ピープルズ・ツリー」と呼ばれ、住民が好きな装飾品を持ち寄り、各自で飾りつけを行います。



サンタの登場!(昨年)

今回で九回目を迎えるこの祭典は、この時期の恒例行事になっていて、市外からも多くの見物客が訪れます。ことしも、十二月十二日、夜七時から市内で開催され、

その他、展示会、コンサート、映画等、クリスマスから新年にかけて多くの催し物が開催され、セーレム市内は約一か月間、幻想的な光と音の世界に包まれます。

彩の国 年末年始の交通事故防止運動 12月15日～来年1月3日



重点目標

1. 飲酒運転の追放
2. 安全速度の順守
3. 自転車の交通ルールの順守

年末年始は、飲酒の機会が多く、また交通量の増加や慌ただしさなどから、交通事故の多発が心配されます。私たちひとりひとりが交通ルールやマナーを守ること、悲惨な交通事故は防げます。忙しいときほど、ゆとりを持って行動しましょう。

若者の交通事故が多発しています

特に多いのは、スピードの出しすぎや、一時不停止などにより死亡事故になってしまうケースです。無謀運転は未来を奪います。

問い合わせ…総合交通対策課交通安全指導係内線2645

知って得する省エネコラム VII

35JUS(ほぶ)省エネ住宅編① 資源対策課節電推進係内線2621

E-life

人と環境にやさしいまちづくり'98

総合交通対策課都市交通政策担当内線2641



家庭でできる省エネには、三つのポイントがあります。まず、機器を選ぶときは、省エネ型にすること。次に、エネルギー効率のよい機器を選び、毎日コツコツ、上手な使い方を心がけること。そして、住宅の断熱強化を図り、家そのものを省エネ住宅にすることで。今回は、省エネ住宅のメリッ



トについてお話ししましょう。

環境にやさしい住まいです

省エネルギー住宅は、夏の外気温が室内に入るのを防ぎ、冬の暖房熱が屋外に逃げるのを抑えるので、冷暖房による石油・ガス・電気などのエネルギーを大幅に節減できます。化石燃料が節減できるということは、二酸化炭素の排出量が抑えられるということ。地球の温暖化防止に貢献する、環境にやさしい住宅です。



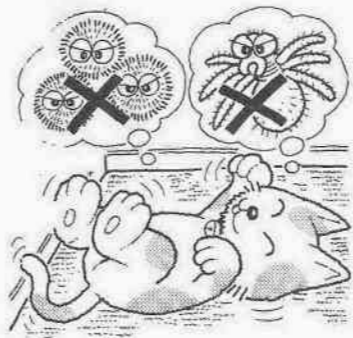
冷暖房費も、電気代もお得です

省エネ住宅

省エネ住宅は、部屋中の温度差が少なく、足元も快適です。熱が外に逃げにくいので、昼間の冷暖房効果が夜まで長持ち。一日中、一年中どの部屋でも快適に過ごせます。もちろん、結露によるカビやダニが発生しないので、清潔で気持ちいい住まいです。

省エネ住宅

省エネ住宅は、家全体の温度差が少なく、結露の発生を抑えられるので、家そのものの耐久性が高くなります。さらに、家全体が暖まるので、廊下やトイレなどが冷え冷えということもなくなります。脳卒中や心臓発作の発生



率のよい省エネ型の機器を選んで、上手に使えばさらにお得です。
参考資料：『省エネ家族奮闘記(財省エネルギーセンター)』、『省エネコンシューマーズガイド・省エネ住宅編(同)』
* E-lifeのEは、electrical(電気)・economic(経済的)・ecological(生態学的)を表します。E-lifeは「暮らし」の意味です。

公共交通機関の利用に協力

川越市では、朝夕の通勤時や休日における中心市街地の交通渋滞が、市民生活に大きな影響を及ぼしています。交通渋滞を緩和させる一つの手段としては、道路の建設や整備が考えられます。しかし、これらは地権者の理解と協力を得るのに時間を要するため、相当長い期間が必要となるため、一朝一夕には進まないのが実状です。



最近では、環境問題に対する意識が高まっていて、環境負荷の少ない公共交通機関への転換が望まれています。そのため、道路建設や道路整備と並行して、交通需要の抑制・分散化等を目指す、交通需要マネジメントの検討を行っています。

本市においても、冬期の期間中、毎週水曜日は、公用車使用の二〇パーセント削減に努めています。さらに今後は、職員の通勤時の自家用車の使用を削減し、公共交通機関での通勤に努めるよう、検討していきます。

この施策の一つとして、自家用車からバスなどの公共交通機関へ利用の転換を促進し、自家用車の総量を抑制する方法があります。この方法により、自家用車が排出する窒素酸化物の発生を削減するとともに、交通渋滞の緩和を図り、環境にやさしいまちを形成していくこととなります。

市民の皆さんもできるかぎり自家用車の利用のしかたをくふうし、自動車の使用を控えて、なるべく公共交通機関を利用するよう、ご協力をお願いします。
* 交通需要マネジメント：車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または地域レベルの道路混雑を緩和する手法の体系です。

Your health!

健康アドバイス

骨髄バンク・臓器移植とは

健康課保健指導係内線2577

骨髄バンクとは？

骨髄バンク事業は、白血病や再生不良性貧血などの血液難病で苦しんでいる患者さんを救うため、骨髄液を提供してくださる方(ドナー)の登録をお願いするものです。

骨髄移植を成功させるには、患者さんとドナーの白血球の型(HLA)が一致しなければなりません。しかし、HLAが一致する確率は、兄弟姉妹間では四人に一人ですが、それ以外では数百人から数万人に一人とまれなため、骨髄移植を受けられない患者さんが少なくありません。今、ドナー登録者は十万人ですが、移植を希望する患者さんが移植を受けるには最低三十万人のドナー登録が必要と

されています。

骨髄バンクは、あなたの愛を待っています。登録は10ccの血液の採血と同時にできます。詳しくは、川越保健所(☎24-0380)難病担当にお問い合わせください。

臓器移植とは？

臓器移植とは、人体において機能しなくなった臓器の最終的な治療方法です。それには善意の臓器提供が必要となります。平成九年十月に臓器移植法が施行され、自分の死後に臓器を提供することを、自分で意思表示できる意思表示カード(ドナーカード)制度が発足しました。この制度は、脳死判定後または心停止後に提供できる臓器をドナー

カードに記入し、本人と家族が署名のうえ、定期入れなどに携帯していただければよいものです。提供できる臓器は、心臓や肺、肝臓、じん臓、すい臓、小腸、角膜などです。このうち、じん臓やすい臓、角膜は心臓が停止した後でも提供することができます。未成年でも十五歳以上であれば、意思表示できます。また、骨髄バンクとは違って登録の必要がありません。詳しく知りたい方は、(株)日本臓器移植ネットワーク(☎0120-78-1069)にお問い合わせください。

埼玉県川越保健所 丹野瑛子(たのひこ)所長から原稿をいただきました。

消費生活レポート 54

着衣が燃える～そで口から燃え広がって大やけど～

冬に向かって朝晩寒い季節になります。つい、上着を着たままや、パジャマのまま台所に立つことも多くなりがちです。しかし、普通の繊維は燃えやすいため、十分注意しないとやけどなどの思わぬ事故につながります。

事例1 76歳の女性が、畑でごみを燃やして着衣に引火し、全身の60パーセントにやけどを負い死亡。

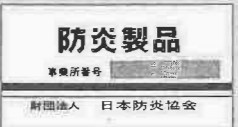
事例2 パジャマを着たまま火の付いているコンロになべをかけたら、瞬間的にパジャマに火が走り髪の毛を焦がした。

事例3 ガスコンロに火を付けたとたん、アンゴラカーディガンのそで口からガスの炎が燃え移った。炎はアツという間にそで口から肩に広がり、夢中でカーディガンを脱いだ。

衣服に火が走ることを表面フラッシュ現象といいます。生地表面の羽毛状の繊維に、瞬間的に付いた炎が非常に速いスピードで伝わる現象です。けばだっている衣服に起こりやすく、買ったときは無くて着用や洗濯などでけばだちます。洗濯回数の多い冬物のパジャマなどは、注意が必要です。衣服に火が燃え移ると、重度のやけどや死亡事故につながります。特に高齢者や幼児には十分注意しましょう。

消費者へのアドバイス

- ①そで口に火が付くケースが多いので、調理するときはそで口を絞った衣服を着用する。エプロンやアームカバーの使用も効果的。
- ②防災製品を使用する。テストの結果、防災製品は炎に接した部分が溶けて縮んだり炭化したりするが、火が付いても火元を遠ざけるとすぐに火が消え、燃え広がることはなかった。
- ③もし、衣服に火が付いてしまったら、走り回らないで、火の付いたところにすぐ水をかけて消す。水道水・花瓶の水・ジュースなど、手近にある水をかけて消す。



防災製品について紹介されている「'98くらしの豆知識」を配布しています。

生活情報センターでは、商品や契約などに関する相談を受け付けています。

生活情報センター ☎26-7476 (相談専用)

相談日…月・水・木・金曜日、午前10時30分～午後4時30分
問い合わせ…生活情報センター ☎26-7066

市民に役立つ

福祉課

総務係
保護係
児童福祉係

福祉課は、健康福祉部の福祉課と、川越市社会福祉事務所(福祉課、障害福祉課、高齢福祉課)の両方の機能を持った複合組織となっています。

総務係は、日本赤十字社、民生児童委員、福祉事務所の調整等の仕事をしています。また、災害(火事・水害等)にあった市民の皆さんへの、災害見舞い金の支給や災害援護資金の貸し付けもしています。

保護係は、生活保護を担当しています。生活保護は、病気やけがなどにより収入が減少し、資産・能力・その他あらゆるものを活用しても最低限の生活が困難である家庭に対して、その不足分を援助することにも、自立のお手伝いをするものです。

児童福祉係は、子どもを養育している方への各種手当の支給や、乳児医療費の支給などの仕事をしています。また、子どもがいる家庭のさまざまな相談に応じるため、家庭児童相談室を設置し、たくさんの方々にご利用いただいています。また、出先機関である母子生活支援施設の管理・運営もしています。

先人のあゆみ 53

浅草絵の元祖？
淡島椿岳(一八二三〜八九)

幕末から明治初期の浅草を中心に、和洋折衷の泥絵や南画(文人画)を描いて人気のあった淡島椿岳は小ヶ谷の出身です。

椿岳は、本名を氏平といい、内田善藏の末っ子として生まれました。若いころ、江戸の蔵前で札差の伊勢屋を営んでいた兄の伊藤八兵衛をたより、江戸に出ます。兄の下で働きましたが、まもなく、これを嫌って武家の株を買い、水戸藩の御用を務めるなどしていました。

子どものときから絵が好きで、文雅の道にあらがれていた椿岳は、そのころ江戸で、軽妙な山水・人物・花鳥などを描いて評判だった四条派の画家・大西椿年(一七九



椿岳の描いた「鍾馗(しょうぎ)」

二〜一八五二)について絵を学び、師の一字をもらって椿岳と号します。そして、しだいに絵の世界にのめりこんでいきます。

そのような折、たまたま日本橋の淡島屋服部喜兵衛の娘に見初められ武家の生活に飽きかかっていった椿岳は渡りに舟と、その若主人に納まり、再び商人の生活に戻ります。淡島屋は豊かな財産に恵まれ、申し分のない生活でしたが、生来自由を求める性分の椿岳は、一男をもうけると家を出て気ままな暮らしを続けます。そして、浅草寺境内の淡島堂に住み、世間で人気のあった泥絵による洋風画の風景画を描いて、評判を集めました。

混ぜた泥絵の具を使って描いた絵で、同じく泥絵の具を使ってガラスに描いた「硝子絵」とともに、江戸時代後期から、その時代の洋風趣味を反映して流行したものです。独特なタッチで描かれた美人画や名所風景・花鳥図などの絵が、手軽な装飾や土産として利用されました。椿岳の描いた軽妙な筆使いの洋風画の泥絵は、浅草近辺の風景や風俗を写したものが多く、一般に浅草絵と呼ばれます。これらの絵の先駆けといわれています。

その後も浅草近くの向島に、椿岳堂と称する奇抜な画室を建てると世間の注目を集め、奔放な生活を送りました。そして、仏画を描いてみたり、南画風の山水・人物画や印象派風の作品を描くなど、当時の世俗派の画家として活躍しました。そして明治二十二年(一八八九)九月二十一日、六十七歳で亡くなりました。



まさに「学ぶ」姿

ゆるぎゆるぎシルバニア

いろいろなことを知りたくて



まず、体操でリラックス

十一月十八日、平成十年度川越市高齢者教養セミナーを訪ねました。この日は全七回の三回目で、五十三人が出席しました。会場に入るとすぐ、健康体操が始まりました。初めは息を吐いたストレッチ。その後、童謡のリズムに乗り、体をひねりながら手拍子を打ちます。受講される皆さんの顔に笑みが浮かび、リラククスムードが漂います。

そして講義が始まり、皆、真剣な顔へ。今日はわらべうたについて学びます。「高音一つと低音が一つあれば、歌ができません」などの話に、だんだんと引き込まれていきます。

受講者の一人、喜田清さん(63歳・笠幡)は「俳句や中国語を学びに都内まで通っています。家の近くでいろいろな分野を学べるのがうれしいですね。来年も受講したいと思っています。」「時事問題として、ことしは金融・経済の話題を取り上げました。また健康や法律についての講義は、毎年設けています。セミナー終了後のアンケートには、要望などが具体的に書いてあり、受講者の熱意を感じます。来年もご期待ください」と高齢福祉課の担当者。

みんなの作文

子牛が生まれたよ

高階小学校四年

中村さおり



わたしの家には、たくさんのお牛がいて、その中に「このみちゃん」というおなかの大きいお母さん牛がいます。

ある夕方のこと、お父さんたちとテレビを見ていたら、お母さんが急いで来て「お父さん、赤ちゃんが生まれるから手つたつて」と、言いました。

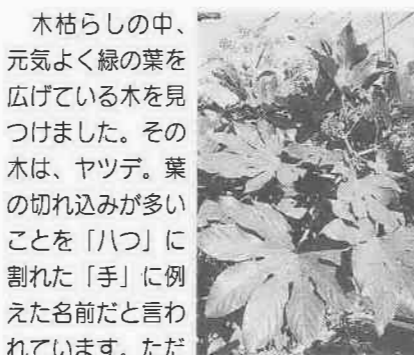
このみちゃんの後ろの方から赤ちゃんの足が出ているそうです。お父さんはそれを聞いて、すぐにかけに行きました。わたしも、長くつをはいて行きました。牛しゃに行くとき、このみちゃんも少しあはれていました。お父さんとお母さんがいっしょにぐいぐいと足をひっぱつたら、



男の子です。せいかくは、ちょっといたずらっ子。あらぬかを置くと、いつもそれにじゃれてきます。名前は、お母さんが「チビ」とつけてくれました。わたしは、こしし、先に生まれてきた三頭と友だちができてよかったと思います。今は、早く大きく育ってほしいなと思っています。

おしゃべり倶楽部 117 気楽木 ヤツデ

俳句



木枯らしの中、元気よく緑の葉を広げている木を見つけました。その木は、ヤツデ。葉の切れ込みが多いことを「八つ」に割れた「手」に例えた名前だと言われています。ただし、葉が8枚に割れているわけではありません。実際の葉は、なぜか奇数に割れています。これは、葉の両側が同時に割れ、1枚の葉に2枚ずつ切れ込みが増えるため。別名に「テングノウチウ」があります。原産地は日本ですが、葉の魅力で広く海外でも親しまれています。写真を撮った11月末は、ちょうど花の時期。虫たちにはごちそうらしく、たくさん花に集まります。約5mmの小さな白い花が球形に咲く姿は、大きな手の上で弾むボールのようにも見えました。

第五十回川越市市民文化祭俳句大会作品

- | | |
|----------|-------|
| 大袋 | 水村素人 |
| 今成 | 金子益治 |
| 伊勢原町二丁目 | 東郷すみ江 |
| 城下町 | 山崎たき |
| 石原町二丁目 | 原田しずえ |
| 日東町 | 浦田千江子 |
| 下新河岸 | 山口製炭寿 |
| 山田 | 戸田雅子 |
| 新宿町五丁目 | 奥富敏子 |
| 笠幡 | 山田愛子 |
| 小堤 | 田中矢水 |
| 古谷上 | 松川幸子 |
| 西小仙波町一丁目 | 猪鼻純枝 |
| 上寺山 | 北村しずえ |
| 野田町二丁目 | 新井敏子 |
| 連雀町 | 塚本洋子 |
| 水川町 | 白石てつ |
| 藤倉 | 藤倉東郎 |
| 岸町三丁目 | 新関博三 |
| 今成 | 鈴木妙子 |

もしもしコーナー 116

Q 自転車はスクランブル交差点を、どのように通すればよいのですか。

A 直進する自転車は、スクランブル交差点を左折しようとする車に巻き込まれそうになったら、スクランブル交差点の歩行者用信号が青のとき、車道を走ってきた自転車は、そのままのスピードで交差点を斜めに横断したりするのをとどまらなければなりません。



道路交通法で、自転車は軽車両とい、車の仲間です。自転車に乗っていると、きは自動車と同じ信号に従ってください。しかし、自転車を降りて押せば歩行者の扱いとなります。歩行者用信号に従って横断歩道を渡るときは、自転車を押して渡りましょう。

川越いも 紅赤誕生百年を迎えて

「栗(九里)より(四里)うまい十三里」といわれた川越のさつまいも

冬の風物詩「焼きいも」。東京(江戸)に初めて焼きいも屋が登場したのは、寛政年間(一七八九〜一八〇一)のころだといわれています。値段も手ごろで、おいしい焼きいもは、たちまち江戸庶民の間に広まっていきました。川越がさつまいもで有名になったのは、川越近郊のいもが江戸の焼きいも屋で使われはじめ、「本場もの」として重宝されるようになったからなのです。



さつまいもの女王「紅赤」



さつまいも資料館(小室)



さつまいも資料館の展示室(2階)



南大塚に広がるさつまいも畑

江戸庶民の間でブームとなった当時の焼きいもは、冬のおやつとして人気があり、鉄の浅い平なべで蒸し焼きにして売られていました。江戸の各町内には、たくさん焼きいも屋ができ、さつまいもの需要は増えていきました。天保年間(一八三〇〜四四)になると、江戸に近い川越藩領や近隣他領の農家では、安くてよく売れるさつまいもをたくさん作るようになります。川越、江戸間を結ぶ輸送路は、新河岸川の舟運が発達していたために、多量のいもを楽に運ぶことができました。川越近郊のさつまいもは「川越いも」と呼ばれ、「本場もの」として扱われるようになりました。

そして、川越いもは「紅赤」の発見により最盛期を迎えます。

「紅赤」(通称キントキ)は、明治三十一年、木崎村針ヶ谷(現在の浦和市)の山田いちによつて発見されます。従来種の「ハツ房」が突然変異して誕生したもので、味はもちろん、表皮の色、肉質など、多くの面で従来種を越える品質を持つていました。そのため、「紅赤」はたちまち評判となり、高い値段で売られ、川越近郊の農家では、こぞつて「紅赤」を作るようになり、こうして、「川越いも」||「紅赤」というイメージが生まれました。しかし、「紅赤」は、良品質であった反面、収穫量が少なく、肥料および気候に対する適応能力が低かったために、栽培にとっても手間がかかりました。商品としての「紅赤」を作り出すには、

かなりの努力と労力が必要とされたのです。それゆえに、「幻のさつまいも」「さつまいもの女王」などと呼ばれ、他に追随を許さない地位を得るようになりました。

ところが、食生活の変化や栽培しやすい他品種が食用の主流になると、「紅赤」の需要は減り、栽培農家は少しずつ姿を消すようになってしまいました。現在、市内で「紅赤」を栽培している所は数えるほどしかなく、主要な生産地域は近隣の三芳町のほか、千葉県へと移っています。

ことしは、「紅赤」が誕生して百年。「紅赤」の歴史は「川越いも」の歴史でもあります。畑は減つても「川越いも」の火は消したくありません。「川越いも友の会」では、さつまいもの収穫期である十月と「栗(九里)より(四里)うまい十三里」の口上をかけ、十月十三日を「さつまいもの日」とし、「紅赤」をはじめ、いもの研究を積極的に行っています。また、「さつまいも資料館」(小室)には、いろいろな種類のさつまいもが展示され、世界におけるさつまいも事情や「川越いも」の歴史等が理解できるようになっています。

先人たちの地道な努力と情熱によつて、「川越いも」は確固たる地位を得ました。その歴史と文化を次代へ引き継ぐためには、新しい価値を見つけていく必要があります。「たかがいも、されどいも」。今を生きる私たちが誇りを持って伝えていくことで、新しいさつまいも文化を築き上げていきたいものです。

まちのできごと 109パレット

川越市の面積は109.16km²

元気なちびっこ集まれ

11月1日、霞ヶ関公民館で行われた「ちびっこまつり」は、ことしで10回目を迎えました。日ごろ公民館を利用しているグループや地域の人たちが集まり、子どもたちに昔懐かしいわら草履作りや牛乳パックなどを使った紙工作等を手ほどきしました。もちつきコーナーでは、初めて手にしたきねでもちつきを楽しみました。



わら草履作りに挑戦

第4回川越市民ゴルフ大会

澄み切った青空が広がった11月9日、第4回市民ゴルフ大会には、男女合わせて287人が参加。日ごろ練習で鍛えた腕前を披露しました。会場となった朝霞ヶ関カンツリー倶楽部は、ゴルフの日本オープンが開催された場所。めったにプレーできないコースとあって、参加者は皆、満足した様子で楽しんでいました。



スタート前の説明を受ける参加者

幼年消防クラブ演技

11月11日に行われた自衛消防隊消防操法競技大会で、市内2幼稚園の園児約260人による幼年消防クラブ演技が行われました。背中に防災の文字が入ったそろいのはつぴを着て、太鼓や遊戯を一所懸命に披露。火災予防を呼びかけました。かわいらしい演技に、競技に参加した選手からたくさん拍手が送られていました。



「火事をなくしましょう」

フルマラソンで世界記録達成

11月12日、開校50周年を迎えた富士見中学校では、フルマラソン(42.195km)の世界記録(2時間6分5秒)に挑戦するアトラクションが行われました。1年生から3年生まで、全生徒によるリレー形式で行われ、延べ421人が参加。全力疾走で駆け抜け、みごと世界記録を破る1時間58分19秒の記録を達成しました。



全生徒で最終走者を祝福

オアシス利用者50万人突破

平成7年にオープンした総合福祉センター・オアシス。開設以来994日目となった11月10日、利用者が50万人を突破しました。1日平均503人が利用したことになります。50万人目となったのは、シルバー健康体操教室に通う大畑寛さん(65歳・藤間)。「今後は、夫婦でプール等を利用してみたい」と話していました。



50万人目を祝う大畑寛さん



わたしの旅日記

動・植物の宝庫マダガスカル

新井忠雄(49歳・清水町)

ここは、世界で6番目に大きな島で、動・植物の宝庫と呼ばれ、対岸のアフリカ大陸では、すでに死滅し、ほかでは見られないユニークな生物を目にすることができる。世界三大珍獣の一つ、キツネザルのような珍しい猿は、今では限られた保護地域でしか見られない。

首都アンタナナリボから南東に80キロのところ位置する湖。水上から見ると平坦なげ山の景色の中から突然現れる野鳥の群と天然林の姿は幻想的であり、ここを偶然に訪れた人々は感動する。しかし、ここは、貯水湖奥地の山林であり、貧困のために交通手段を持たない住民は、この景色を見ることはない。それゆえに、この叙情詩あふれる景観が保存されてきたことは、なんと皮肉な話である。

交通機関や生活が変化しても、人類は昔から他の動・植物の世界と共存してきたし、この秩序で地球の適正な環境は保存されてきた。今後、我々と自然の共存は難しいかも知れないが、しばらくはこのチアゾンパニリイ湖には、あふれるばかりの自然があるようだ。

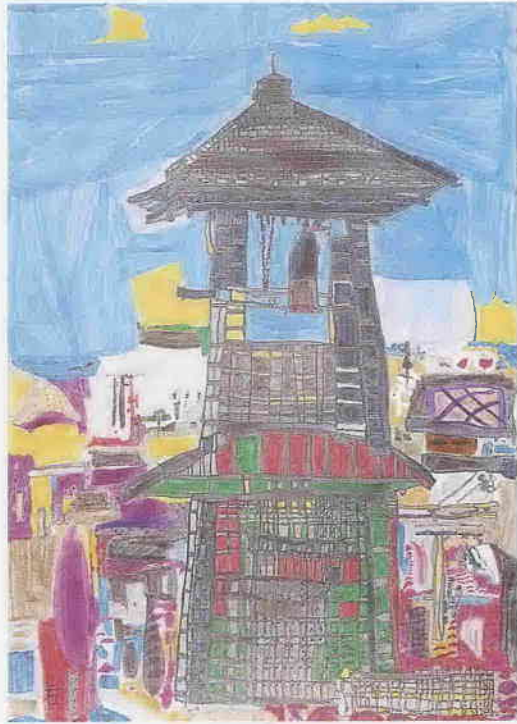
イラストコーナー



内藤由美(32歳・新宮町一丁目)

時の鐘

フェルトペン画
文 岩崎美喜代
岩崎喜裕



久しぶりに散歩に出かけました。
一番街を歩いていると、
養護学校時代のお友達と出会いました。
「どこにいくの」「元気ですか」と聞かれ、
「はい」と答えたものの、あなたの視線は別のところ
その先に時の鐘がありました。
川越のまちとともに時を重ねてきた鐘
あなたも二十一年の時を重ねてきましたね。
そして、新しい年がやってきます。

TV わが街川越 番組ガイド

テレビ埼玉 (38ch) 小江戸川越、秋から冬へ

12月19日(土)/午前10時20分～10時30分
12月20日(日)/午後5時50分～6時00分

川越ケーブルテレビ (15ch)

12月20日(日)まで・小江戸川越、秋から冬へ/12月21日(月)から・川越の伝説
月～木曜日/午前9時45分～・午後0時45分～・午後6時45分～・午後9時30分～
金 曜 日/午前9時45分～・午後0時45分～・午後6時45分～・午後9時45分～
土・日曜日/午前9時45分～・午後4時00分～・午後6時45分～・午後9時45分～



編集日記

「インターネットに広報の内容を掲載してほしい」というご意見をいただきました。国内にはおよそ800万人のインターネットユーザーがいて、西暦2000年には2,200万人になるといわれています。平成10年版の「通信白書」によると、インターネット利用者の約80%が40歳未満。また、インターネットで見る情報のうち、行政情報は第5位となっています▶昨年実施した市民意識調査によると、調査協力者の3分の2が広報川越の全体を見とっていますが、30歳未満の場合は半分になります。こうした状況を踏まえながら、広報川越のインターネット利用を検討していきたいと考えています。

表紙写真



藤岡土自主消防組織・女性消防隊

小江戸川越、秋から冬へ

健康・芸術・産業・味覚。いろいろな魅力あふれる秋から、寒さが増し、暖房器具が恋しい冬へ向かう川越。たくさんの方が訪れ、にぎわう催しの様子とこれから特に注意しなければならない火の用心についてお知らせします。



「トゲ橋のいわれ」

川越の伝説

親から子へ、子から孫へと昔から語りつがれてきた伝説。今回は、その中から名細地区に伝わる「小畔川の一目小僧」と「トゲ橋のいわれ」の2編を紹介します。

●昭和62年度制作・再放送

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。